

土・ひと・暮らしをつなぐ、香川の交流誌



きらり

1

2023 JANUARY



あたらしい年の、
あたらしい朝に
シャキッと新鮮！



【あぐり SPECIAL】

新春巻頭インタビュー

「農業と地域に全力投球！」

令和5年、JA香川県は
対話活動を力に躍進を目指します。

【らいふ SPECIAL】

新春特別企画

ホップ、ステップ、ぴょーんとジャンプ！

令和5年「私の抱負」大公開！



JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

「農業と地域に全力投球！」

令和5年、JA香川県は
対話活動を力に躍進を目指します。



組合員・地域住民の皆さま、
新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、つつがなく、
新しい年令和5年を迎えられていることを
お慶び申し上げます。

JA香川県代表理事理事長
村川 進

激動の令和4年を振り返り、 令和5年からの香川県農業の展望は？

令和4年は、国内および国際的に、政治・経済・社会情勢が激動の年でした。国内での新型コロナウイルスの終息が見えないなか、世界的な物価高騰、ロシアのウクライナ侵攻に伴う国際穀物の逼迫からの飼料価格上昇、資源国の肥料原料の輸出制限による肥料価格の急騰、さらには為替相場における急激かつ大幅な円安など、複数の要因が国内農畜産業にも影響を及ぼしています。「食料安全保障」の重要性が世界中で再認識されており、なかでも食料自給率が先進国中で最低の日本においては、喫緊の課題となっています。

このようななかで、令和5年からは、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた次代の技術の実現が始まります。すでに化学農薬・肥料や温室効果ガスの削減、生産性向上に役立つ技術や機械の導入・展開が進みはじめました。また、農畜産物の輸出拡大の取り組みも本格化しようとしています。

これらのことが、香川県の農業の在り方にも大きな影響を与えるものと思われ、5年後、10年後の将来を考えると、令和5年が大きな転換点になる可能性があります。

理事長に就任してからの半年間、特に印象深かったことは？



JA香川県代表理事理事長
村川 進

昭和55年、香川県信用農業協同組合連合会(信連)に入会。以来、JA香川県合併後も主に金融部門で役職を歴任。高松市の農家の四男に生まれ、現在も同市在住。健康のために退勤時は40~50分の道を歩いて帰り、街の観察をするのが密かな楽しみ。牡羊座、A型。

令和4年6月末に理事長に就任して、今までの管理・信用共済担当副理事長と大きく異なったのが、生産者との対話でした。
生産者の皆さまと部会会合や販売会議、共進会などを通じて、生産資材価格高騰や価格転嫁できない農畜産物を販売することの大変さ、消費者の農業に対する意識醸成の大切さ、SNSやIT活用のご提案などさまざまな生の情報をいただくことが大変ありがたく思いました。

また、市場関係者への訪問などを通じて、本県の農産物の安定的な供給に対する期待を受け取ることもでき、JAとして、生産者の皆さまの大切な農畜産物をしっかりと消費者に届ける役割を担っていることを再認識しました。
さらに、青壮年部や女性部の役員の方との意見交換会を通じて、組織力の大切さを教えていただきました。
これらの貴重な「対話」を生かして、今後は、皆さまのご意見・ご要望を一つからでも実現したいと思っています。



令和4年7月4日、JAビル本店で開催された青壮年部役員と当JA役員との意見交換会

令和5年、理事長として実践したい、実現したいことは？

営農事業では、国内市場だけでなく海外(輸出)にも目を向けた生産活動ができるような営農指導や販売戦略の実施に取り組みます。また、県内の消費地にも目を向け県内市場への流通量を増やし、より新鮮で安全安心な農畜産物を生産していただくお手伝いをこれまで以上に行っていきたいと思えます。
ほかに、SNSなどを活用した情報発信を今以上に強化し、本県のおいしい農畜産物を消費者にわかりやすく発信して、香川県産ブランドの認知度や価値を高めていきたいと思っています。
コロナ禍ではありませんが、昨年から香川県知事などとともに県内外へ直接出向いての視察やPR活動(トップセールス)も、行えるようになりました。
JAグループで注力している「国産産物の推進にあわせて当JAでも本県の消費者の皆さまに県産農畜産物を選んでいただくようなPRをしていきたいです。」



令和4年12月1日に行われた東京都中央卸売市場大田市場でのトップセールス。◎から村川理事長、池田豊人香川県知事、さめき譲はなやか(花野果)大使の中村汐里さん



フィールド支援、出荷調整支援、予冷库などが県内全域で整備され、全国有数の産地となった香川県産ブロッコリー

令和5年度で2年度目を迎える 第7次中期経営計画の 進捗状況は？

中期経営計画では、「農業振興プラン」「地域活性化プラン」「組織強化プラン」「経営強化プラン」を定め取り組んでいます。

営農振興と地域活性化プランについてはアクションプログラムで数値目標を設定し着実に実践しています。たとえば「農業振興アクションプログラム」では成果目標として、販売品取扱高（産直売上高を含む）200万円超生産者を3,300名、野菜10品目作付面積を2,690haと掲げており、昨年9月末の実績値は1,499名、1,421haとなっています。生産資材などの価格

「農業振興アクションプログラム」の 重点施策は？

高騰により、農畜産業が過去にない非常に厳しい経営環境にさらされていますが、成果目標達成を目指し、販売力の強化やコスト削減、荷造り調整支援やアグリワークでの労働力確保、担い手サポーターによる総合事業提案などの施策を今まで以上に注力して取り組んでいきます。

「農業振興アクションプログラム」では、販売力の強化、コスト削減、生産拡大支援、農業者ニーズの対応の4つのプログラムで29項目の具体的な施策に取り組んでいます。

特に重要な施策としているのは、自己改革工程表重点目標に掲げている「直接販売、契約的取引の拡大」「高度化成肥料の一括集中購買による肥料価格の低減、市況に負けない肥料価格の設定」「麦の生産量拡大による生産者所得の向上」「担い手サポーターによる農業所得増大に繋がる総合事業提案」の4つです。

それぞれの令和4年度の目標は、園芸作物直接販売取扱高45億円、高度化成肥料市況価格対比平均5%安、麦の生産量11,000ト、担い手サポーターのコンサルティング件数7先、総合事業提案80先として取り組んでいます。

「地域活性化アクションプログラム」の 重点施策は？

「地域活性化アクションプログラム」では、協同組合ならではの地域社会での役割発揮、地域の多様な組織との連携、組織基盤強化の3つのプログラムで18項目の具体的な施策に取り組んでいます。

特に重要な施策としているのが、自己改革工程表重点目標に掲げている「組合員の声に基づいた組織・事業運営」「農業振興応援団の加入促進」「組合員との対話活動を活かした事業運営」「准組合員との関係強化」「広報モニターの実施」「直売所利用者モニターの実施」です。

また、「女性部・フレッシュミズ部会の諸活動との連携」も重視しています。女性部は新型コロナウイルスのために活動を縮小する時期が続きましたが、再びさまざまな活動を行い、部員数を増やし、情報発信を行っていただければと期待しています。



令和4年7月22日、丸亀統括店が開催した准組合員交流会の様子。写真は坂本撰果場で、モモの出荷調整作業を見学する参加者ら

組合員・地域の皆さまにとって “なくてはならない存在”で あり続けるために



なかなか新型コロナウイルスは終息しませんが、経済活動優先の現在においては、組合員の皆さまとの活動を早く正常に戻すことが望まれます。

農業生産は、どのような環境においても国民・消費者のためにその活動を止めるわけにはいきません。その農業生産のお手伝いをするのがわれわれ農業協同組合であると思います。そのために当JAは、農業を持続可能な産業として維持・継続させていく使命を担っていると認識しています。

さらに、当JAは常に地域の第二次

産業として「食」と「農」を軸に、地域と「つながる」総合事業を展開してまいります。

その一例として、支店協同活動を実施しています。こちらの活動も新型コロナウイルスの影響により、一時自粛していましたが、昨年より感染対策を十分に行ったうえで、再開しています。また昨年12月10日には3年ぶりとなる「香川県JAグループ感謝祭」を開催しました。今後とも地域の皆さまのために、ひとつひとつ再開していきます。

また、当JAの経営基盤の確立として、令和5年度から「営農経済事業の将来方向」に基づき営農経済関連施設などの再編実行計画に取り組みます。自己改革工程表の事業利益収支シミュレーションの改善シナリオを達成するように組織のスリム化・事務効率化などを通じて事業管理費の削減を図り、持続可能な経営基盤の確立を目指します。

そして、令和5年もJA香川県のスローガン「農業と地域に全力投球」と、私からの職員向けメッセージである「和衷協同」の精神でがんばってまいります。

組合員、地域の皆さまにとって令和5年がよき一年となりますようにご祈念いたします。

お待たせしました!

第8回香川県JAグループ感謝祭

令和4年12月10日(土)、「香川県JAグループ感謝祭」を高松市のサンメッセ香川で開催しました。新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで3年ぶりに開催し、会場では、大勢の組合員、利用者、地域の皆さまにご来場いただき、マスクの上からでも笑顔があふれる一日となりました。



屋内ブースの農畜産物直売所は大盛況。村川理事長も来場者と笑顔で交流し県産農産物をPR!



JAグループの役職員全員がこの日を待ち望んでいました。たくさんのご来場ありがとうございました!!



「JA香川県共選品販売」ブースでは「おいでまい」や「小原紅生みかん」などを特別販売!



感謝祭初出展の「食育ソムリエ」ブースでは、食べ方相談やレシピ紹介、漬物キットの配布を行いました。



ステージイベントも多彩に開催。写真は、英明高等学校華道部による「花いけパフォーマンス」

新春
特別企画

ホップ、ステップ、ぴょーんとジャンプ!
令和5年

「私の抱負」大公開!



令和5年が始まりました。

「今年はいい年に!」と、やりたいことや実現したい夢を
あれこれ考えるのは楽しいですね。

今回は、組合員の皆さまに“今年の抱負”をお聞きしました。
素敵な笑顔と、明るく前向きな思いの数々をご紹介します。
今年はいっしょに、ぴょーんと跳躍する一年にしましょう!



何事も楽しむ

みやもと かおり
宮本 香さん(38歳)
〔さぬき市志度〕



就農2年目で、キュウリを中心にナバナ、ブロッコリー、ハウレンソウを栽培しています。今年の目標は、今ある面積で単収を上げること。栽培技術・収量ともに昨年の自分に負けないようにがんばります。
趣味は釣りです。今後の目標はブリを釣ること。久しぶりに沖縄でスキューバダイビングも楽しみたいですね。

農業へ転職して2年目。
仕事も趣味も全力で楽しむ!

家族共に元気

おののら きよみ
小野寺 清美さん(92歳)
〔東かがわ市横内〕



教員を退職後は、テニス、グランドゴルフなどの生涯スポーツを楽しんでいます。また、地域の支援委員として、小学校で野菜作りのお手伝いを10年以上続けています。スポーツで体を動かし、子どもたちと接することで若さや元気をもらえます。
これからも地域の人たちと交流し、がんばっていつまでも現役でいたいです。

スポーツと食農教育で
いつまでも若さと元気を!

盆栽に100%の情熱を注ぐ
今の仕事を大切に継続



平松浩二さん(55歳)
〔高松市国分寺町〕

Smile

家業の平松春松園を継いで35年、盆栽農家の4代目として研鑽の日々です。3年前に新しく「株式会社盆栽の匠」を設立し、盆栽文化を世界に発信するため海外・国内からの盆栽研修生を受け入れ、力を注いでいます。また、JA香川県が運営する「高松盆栽の郷」の推進協議会会長も努めています。そんな私の今年の抱負は、「月に1日は仕事を休む」ことです。

農業の法人化とフレミズ活動
何事にも挑戦する一年に



奈良知美さん(40歳)
〔高松市池田町〕

生き生き

主人と一緒に米麦のほかサトウキビも栽培しています。年々面積が増加しているので、毎々が挑戦と反省の連続です。昨年12月には「株式会社ナラファーム」を設立。今年は新たな一歩のために、何事も挑戦していきます。また、高松南部地域女性部フレッシュミズ部会の活動も部長として、若い世代の方々にも気軽に参加していただけるようがんばります。

アートがもたらしてくれた
さまざまな出会いに感謝！



石井岩男さん(71歳)
〔小豆郡小豆島町〕

日々前進

小豆島を含めた瀬戸内の島で瀬戸内国際芸術祭が行われており、平成25年から、私のオリーブ畑にもアート作品「オリーブのリーゼント」が設置されました。たくさんの観光客が見学に来られ、お話をすることが楽しみになっています。今まで以上においしいオリーブオイルが作れるように、畑作りをし、さらに、休耕田などをコスモスやヒマワリの花畑にして、訪れた人たちを喜ばせたいです。

ミカンの六次産業化に
チャレンジする年に！



太田翔さん(37歳)
のぞみ 希さん(37歳)
〔小豆郡土庄町〕

笑

笑門来福

ミカンの有機栽培を行っています。ミカンの花のシロップやミカンのドライフルーツなど加工品も作っていて、今年は本格的に商品化に取り組みます。翔さん:「スイートサマーオレンジ」という名のバンドでベースを担当。ライブを行い、春にはミニアルバムも完成予定。今年には曲作りにも励みたいです。希さん:ドライフルーツ作りはママ友に協力してもらっています。今年はずっとママ友を増やして楽しみたいです。

田畑を耕し、心を耕し、
書を愛する書人として



三野香さん(82歳)
〔坂出市大屋富町〕

衆人皆師

はまかいどう松山産直市運営協議会の会長として、坂出市の特産品「金時ミカン」「金時イモ」「金時ニンジン」を中心に、同店舗が地域の皆さまに愛される直売所になることを目指しています。私自身はサツマイモ数種類を育苗しています。プライベートでは、ブーゲンビリアの咲く憩いの場での読書や、20代の頃から続けている書の道もゆったりと楽しみたいです。

果樹農家1年生
子どもとともに自分自身も成長！



小泉真理さん(34歳)
〔坂出市江尻町〕

為せば成る

JA香川県の農業インターン生として、家族に協力してもらいながら子育て(1歳と5歳)との両立に奮闘中。修了後は1畝のミカン園地を借り、就農する予定です。受け継いだ樹(60年)をきちんと管理しつつ、面積拡大や中晩柑の栽培にも挑戦したいと思っています。プライベートでは今年こそ家族旅行！子どもたちに「温泉」を体験させてあげたいです。

生涯青春

「丸亀市綾歌町」
 まつおかしげる
松岡 繁さん(79歳)
 あやこ
草子さん(79歳)



ニンニク、ナス、レタス、とうがん、水稻を栽培。丸亀市農業委員会で会長を務めたり、コミュニティのボランティア活動ではバケツ稲栽培の指導、青パト見守り隊員をしたりして子どもたちや地域の方と交流しています。定年退職までは夫婦ともに兼業で、妻は私が単身赴任していた10年間も農業や集落の付き合いを守ってくれました。二人で健康管理に気を付けて、今を継続することが目標です。

農業もボランティアも大切なパートナーが支えに

日日は好日

ひらおむねお
平尾 宗男さん(71歳)
 「普通寺市原田町」



施設野菜の専業農家で、後を継いでくれる娘夫婦への経営移譲を準備中です。農業の目標は、ミニトマト栽培の省力化や、夏場の葉物野菜の試験水耕栽培です。令和3年に17本植樹したアーモンドの木が、多くの花を咲かせるのを楽しみにしています。また、コロナ禍で2年間できなかつた“夫婦で上京しての観劇”を今年は再開して楽しみたいです。

アーモンドの美しい花を季節の楽しみに

笑顔!

すし
図子 テルミさん(66歳)
 「三豊市三野町」



私の趣味は、ずばり「ハワイアンフラ」!! 毎週集まって楽しく練習する仲間がたくさんできたことが何よりの“宝”です。心身ともに元気で練習に励み、以前のように思いきり発表会やイベントでフラを踊りたいです。また、家庭菜園では『家の光』の記事を参考に、フルーツトマト作りに挑戦したいと思っています。

フラダンスで得た宝物仲間たちとの時間を大切に

継続は力。

なかしゆきのり
中西 幸範さん(73歳)
 「三豊市高瀬町」



よいブロッコリーを作るため、土壌づくりをがんばっています。ブロッコリーの県域部会の副副会長・三豊地域の部会長としては、荷造り調整支援に力を入れ、選果・選別の徹底により高品質なブロッコリーを出荷していきます。農閑期には、趣味のラジコン飛行機の操縦(歴50年!)と、愛車のビンテージカー(スカイライン31)でのドライブが楽しみ。愛車で火野正平さんのようにいろんなところを回りたいですね。

農作業のオン・オフを分けて趣味も思いきり楽しみたい

日々勉強

「観音寺市大野原町」
 おおひらしゅうこ
大平 聖子さん(60歳)
 ままほ
真歩さん(14歳)



日々努力

聖子さん:豊南地域女性部の部長を務め、昨年からは県域女性部長になりました。「女性部って楽しい!!」と思ってもらい、女性部員が増えるようにがんばっています。地産地消に取り組み、地元で若い人たちの交流の場となるようなフレッシュミズ部会を立ち上げたいです。真歩さん:英語と数学が得意で社会科が苦手なので、今年は社会科をがんばりたいです。料理にも挑戦して、仕事で忙しい祖母、母を手伝いたいです。

「女性部活動は楽しい!」を発信し若い人たちにも活躍の場を

上を向いて

やましただいすけ
山下 大輔さん(48歳)
 「観音寺市大野原町」



豊南地区ブロッコリー部会の部会長、県域同部会の役員として、コロナが収束したら部会員とともに県内外の市場へ出向いての販売促進活動を再開したいです。農業者としては、JGAP団体認証を取得しました。持続可能な農業の普及や従業員の人材育成に一層力を入れていきます。オフでは釣りや、妻とのドライブを楽しみ、ダイエットも(徐々に)がんばります!

永く継続していくために基本的な栽培技術の励行を



1月の
おすすめ



レタス

レタス炒飯の天津飯風



調理時間
15分

材料[2人分]

- レタス 6枚程度
- 卵 1個
- タマネギ 50g
- ニンジン 30g
- 鶏ひき肉 80g
- ごはん 300g
- 鶏ガラスープの素 小さじ1
- サラダ油 大さじ1
- ゴマ油 小さじ1
- 〈あん〉
- しょうゆ 小さじ2
- 酒 小さじ2
- オイスターソース 大さじ½
- 砂糖 小さじ1
- 片栗粉 小さじ1
- 鶏ガラスープの素 小さじ½
- 水 200ml

作り方

- ①ニンジン、タマネギはみじん切りにする。レタスは食べやすい大きさにちぎり、3等分に分けておく。
- ②卵をボウルに入れて溶く。中火で熱したフライパンにサラダ油をひき、卵を炒めて器に移す。
- ③②のフライパンにゴマ油をひき、鶏ひき肉、ニンジン、タマネギの順に入れてよく炒め、火が通ったら、ごはん、卵、①のちぎったレタス1/3量、鶏ガラスープの素を加えてさらに炒める。
- ④あんを作る。材料すべてをよく混ぜ、小鍋に入れて弱～中火にかけ、とろみがついたら火を止める。
- ⑤お椀に①のちぎったレタス1/3量を全面に敷き詰めるように入れ、③のチャーハンの半量を加えて軽く押し固めて、お椀を伏せるようにして皿に移し、④のあんを半量かける。もう1人分も同様につくる。



野菜ソムリエプロ
川村 章子 先生

プロフィール
野菜ソムリエプロ。野菜でキレイになる料理教室 be-vege(ビーベジ)主宰。レシピ提案、商品開発、講演活動、食育事業や災害時の食の提案も行う。

サラダの代表食材ともいえるレタスですが、炒めても煮てもおいしく食べられます。レタスは包丁で切ると断面が変色しやすいので、今回のレシピでは「手でちぎる」調理法で作っています。寒い季節は、レタスのサラダもドレッシングの代わりに温かいあんをかけてみては。

香川県には、もともと伝統野菜のチシャがあり、油揚げ、じゃこを白味噌の酢味噌で和えた「チシャもみ」という春の郷土料理もありました。今では、チシャはほとんど見なくなりましたが、レタスが冬の特産品となり「らりるれレタス」の商標で全国に出荷されています。新鮮で肉厚な県産レタスを、この冬もたっぷり召しあげられ！

※レタスの和名、非結球レタスの種

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとって今年1年がよい年になるようお祈り申し上げます。今回の「らいふスペシャル」では、生産者・地域の皆さまに今年の抱負をお聞きしました。私の抱負は「なんでもやってみる!」です。皆さんの今年の目標は決まりましたか。(M)

JA香川県WEBガイド



YouTube「JA香川県チャンネル」では水稲の生育をドローンで空から撮影した動画を公開中! 6月の田植えから10月の稲刈りまで約4か月かけて制作しました。いつもは見れない角度からの稲の様子を楽しんでください。

JA香川県チャンネル

